

旅館業におけるその他の装置、設備を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	10~11	事業所内階段において清掃作業中、4階から3階へ掃除機を持ち移動していた際、掃除機のホースが足に絡まり転倒し、胸骨を打撲したものである。	60~99	50
2	19~20	派遣先にて、味噌汁をお客様に提供する際に、IHヒーターで温めてた寸胴のラップを剥がした時に、噴き出して来た上記が手にかかり火傷をしてしまった。	24~299	100
3	15~16	ホテル客室を清掃中、ソファの角に右足を強打し、右足薬指が変形していたため救急搬送した。	23~49	30
3	12~13	客室にて清掃作業中、天井の非常灯の電球を交換しようとして4脚のテーブルの上に乗って作業をしていたところ、4脚の脚が1本折れて、バランスを崩して後方へ転倒し、背中・腰・首を床に打ちつけた。	46~999	500
4	4~5	ビジネスホテルの客室で、エアコンのフィルター掃除をしていた。フィルターを戻した後に、スチール製のふたを閉じたが、しっかりと固定されておらず椅子から降りようとした時に、ふたが外れて頭部に落下し、首を痛めた。その後、手がしびれて動かせなくなった。	27	1~9
5	10~11	ホテル客室にてベッドメイク業務中、客室内の清掃のため、廊下から客室へ入るドアを押して開けてドアを固定するため、しゃがんでドアの裏側にあるドアストッパーを取ろうとしたところ、ドアを押さえていなかったためドアが自分の方へ閉まってきて、左足のつま先にドアの下部が直撃した。着用していた室内履きは破	61~99	50

		れ、足の親指の爪が剥がれてしまった。		
5	13~ 14	ホテル内レストラン厨房で客用コーヒーを大量用意中、コーヒーマーカーのドリッパーが空であると誤認し、あふれていた熱いコーヒーがドリッパーを手前に引いたことにより、左手甲・指部分にかかり火傷を負った。	65	100 ~ 299
6	10~ 11	客室清掃後のチェック作業中に、洗面台のチェックをしようとした時に、テレビ台のコーナーに右足小指をぶつけ、痛みが引かず腫れてきた。	38	30 ~ 49
7	8~9	本館2階通路において天囲換気窓を閉めるため、ハンドル操作を行っていたところ、窓の閉まりが悪く、ハンドルを強く回したところ突然ワイヤーが切れ、勢い余り操作パネル蓋の縁に左手の甲を強打し、その際に左手中指の腱を断裂したものである。	69	100 ~ 299
7	10~11	客室の清掃中、入口ドアの受け金属部分に指先が引っかかり深く切れた。	40	1~ 9
7	19~20	手に持った器に冷めきらない時に器に熱湯を入れたら器の底面が溶けて熱湯が両足にかかった。ナイロン足袋を履いていたものがきつくて脱げず貼りついてしまった。器が冷蔵庫から出して冷たかったものに熱湯が入り弱くなったため。	55	30 ~ 49
7	8~9	地下1階レストランにて、コーヒーマシンを使用しコーヒーを抽出しようとしたときに、まだマシンが抽出中だったことに気づかずにフィルターカバーを外してしまい、左手人差指から薬指にかけてマシン内の熱湯がかかってしまった。	19	100 ~ 299
7	14~ 15	客室で清掃作業中にバランスを崩し、ベッドに左手をついたとき、その衝撃で左肩を脱臼した。	66	10 ~ 29
7	15~ 16	プールのライフガードとして、ウォータースライダーの着水プールで工作中、2人乗りのボートが滑り下りてくる途中で転覆し、乗客2人は滑り下りてきたが、ボートがスライダーの途中で止まった状態になった。ボートを回収するためにスライダーに登り、回収したところ、次のボートが滑り下りて来て避けきれず、被災者の足に衝突し、右肩辺りからスライダーに転倒して負傷した。	29	50 ~ 99

9	6~7	レンタルボートの運搬具に釣道具を積み込み作動操作を誤り停止バーを足で支えようと、左足の指を運搬具の車輪に巻き込まれた。	19	1~9
10	15~16	ドラフトのオーダーが入り、ビールタンクにレバーを設置しようとしたところ、右手親指に負荷がかかり、右手親指の靭帯を損傷。	33	10~29
10	12~13	当社において客室清掃作業中であった。ベッドメイキング中で枕をセッティングする為手を伸ばして奥へ置こうとして右足に体重を掛けて踏ん張った際右足に痛みが走り負傷した。	40	50~99
10	9~10	調理場において、本人が食器を片付け終えて準備室から洗い場に戻る際に準備室から室外に出ようとしたところ、出入り口は35cmの段差があり段差の下には高さ2cmの足のマットが設置されていた。出口を出る際、足マットのフチに片足を着いてしまいバランスを崩して転倒した。	76	100~299
12	14~15	店の厨房内にて、茹で上がった卵の入った片手鍋をシンクに移動させようとした際、両手で持ったが重過ぎたため鍋が傾き、熱湯が左足の甲にかかり熱傷した。	27	10~29
12	19~20	調理場内にて、朝食の仕込みを冷蔵庫へ運んでいる際、トレイが右側の棚にぶつかり、持っていた仕込みを落とさないようにしようと、バランスを崩してデシャップ台の前で左足が滑り、右足首をかばうため（1年前に右足首を粉碎骨折）、右手で体を支えるようにして後方へ転倒した。当初は打撲程度と思っていたが、段々と腕が上がらなくなり、高い所にある物を取ろうとすると痛みが出るようになり、重たい物も持てなくなってきたため受診したところ、右肩外傷性腱板断裂と診断された。	56	100~299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html